

主なプログラム

<< 9月6日(金) >>

- ◆ 8:30～ 開場・受付 (かでのホール)
- ◆ 9:30～ 開会式
- ◆ 10:00 会長講演
「ノーマライゼーションとリハビリテーション」真野行生 (北大リハ医学)
座長：澤村誠志
- ◆ (日本リハビリテーション病院・施設協会)
- ◆ 11:00 特別講演 I
「排尿・排泄障害の診断・治療とリハ」小柳知彦 (北大腎泌尿器外科学)
座長：渡部一郎 (北大リハ医学)
- ◆ 12:00～13:00 日本リハ病院・協会総会
地域リハ研究会総会
- ◆ 13:30 特別講演 II
「地域リハにおける連携の重要性」澤村誠志 (兵庫県立総合リハセンター)
座長：大島竣 (時計台病院)
- ◆ 14:30 シンポジウム I
「介護保険と地域リハ」
 1. 地域のリーダー育成の為に：大島竣 (時計台病院)
 2. 自立支援のかかりつけ医の役割：長谷川幹 (新桜町リハクリニック)
 3. 介護保険と地域リハ：米満弘之 (熊本機能病院)
 4. 北海道における介護保険と地域リハ：柳内統 (北海道医師会)
 5. 札幌市における介護支援専門員の現状と課題
：岩見太市 (札幌市ケアマネージャー協議会)
 6. 指定発言：坂本仁 (札幌医師会)

「在宅療養支援の為にかかりつけ医が行っている地域における連携」
座長：大田仁史 (茨城医療大) 大島竣 (時計台病院)
- ◆ 16:30～18:00 市民公開講座
「フィンランド福祉国家」：山田真知子 (道浅井学園大)
「介助犬と障害者」：高柳友子 (日本介助犬アカデミー)
「DPI 国際大会」：西村正樹 (障害者インターナショナル日本会議)
座長：岡本五十雄 (勤医協丘珠病院)
- ◆ 19:00 懇親会 (サッポロビール園ポプラ館)

<< 9 月 7 日 (土) >>

◆ 8:30 開場・受付 (かでのホール)

◆ 9:00 パネルディスカッション

「回復期リハ病棟の現状と課題」

1. 急性期病院の併設リハ病院としての回復期リハ病棟
: 皆川晃慶 (河北リハ病院)
 2. 慢性期病院から: 土田昌一 (鶴巻温泉病院)
 3. ケアミックスから回復期リハ病棟へ: 橋本洋一 (苫小牧東病院)
 4. 総括: 石川誠 (初台リハ病院)
- 座長: 橋本洋一 (苫小牧東病院) 石川誠 (日本リハ病院・施設協会)

◆ 10:30 シンポジウムⅡ

「その人らしさを支えるリハ看護の可能性」

1. リハ看護の専門性と他職種との連携: 石鍋圭子 (青森保健大看護学)
 2. ストーマリハにおける看護師の役割: 林みゆき (金沢大)
 3. 保健師からみた地域リハの課題: 大西章恵 (日赤道看護大)
 4. セラピストからみた看護職種の専門性と連携の課題
: 橋本伸也 (札幌大保健医療学)
- 座長: 大田すみ子 (道看護協会) 菅原邦子 (天使大看護学)

◆ 12:00

◆ 13:00 シンポジウムⅢ

「ITと地域リハ」

1. 地域リハにおけるIT利用: 横串算敏 (札幌大リハ部)
 2. 在宅高齢者、痴呆患者とのテレコミュニケーション
: 大田匡規 (栗山町生活福祉部介護福祉課介護支援係)
 3. 地域における医療福祉複合情報ネットワーク: 本田忠 (本田整形外科クリニック)
 4. 地域リハビリテーション支援のための遠隔リハシステムの開発とその利用
: 仙石泰仁 (札幌医科大学保健医療学部作業療法学科) 指定発言
: 伊佐地隆 (茨城県立医療大学理学療法学科)
- 座長: 横串算敏 (札幌大リハ部) 名取博 (札幌大)

◆ 14:30 ワークショップ（市民公開）

「重症在宅障害者のための新しい自立支援機器」

1. 呼吸補助装置ー鼻マスクとマウスピースによる人口呼吸器
：石川悠加（国立八雲病院）
2. 意思伝達装置～「伝の心」～：柴田勝泰（パシフィックサブライ）
3. 食事支援ロボット：山口明（国立精神神経センター）
4. 電動車椅子の特殊コントロール装置の試み
：広瀬和哉（札幌五輪橋整形外科病院）

座長：佐々木鉄人（北海道立心身障害者総合センター）

山越憲一（金沢大学工学部）

◆ 16:00 閉会式（かでるホール）

<< その他 >>

◆ 一般演題ポスター発表

◆ 福祉機器展示

◆ ビデオセッション

「義肢装具の進歩」「市民ビデオ講座